

行政事業レビューシート (国土交通省)						
予算事業名	NOx低減啓発・指導事業		事業開始年度	平成19年		作成責任者
担当部局庁	自動車交通局		担当課室	技術安全部環境課		課長 小田 曜作
会計区分	一般会計		上位政策	快適な道路環境等を創造する		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	非接触式のNOx測定機器を用いて実走行車のNOxを測定し、その結果を即時又は事後的に自動車使用者に通知し、また、必要に応じて点検整備を促すことによりNOx高排出車の排除を進め、もって、自動車排出ガスによる大気環境汚染の改善を行う。なお、取得した測定結果の解析を行うことにより、使用過程車に対する新たな排出ガス対策等を検討する際の基礎データとして使用する。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	非接触式のNOx測定機器を路上に設置し、実走行車のNOx排出率の測定を行い、その結果を自動車使用者に対して知らせる啓発・指導事業を行うとともに、測定結果を用いて使用過程車の排出ガス劣化車両の実態について解析を行う。					
実施状況		測定車両数	有効測定データ車両数			
	平成20年度	26,434台	14,958台			
	平成21年度	39,844台	31,226台			
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	12	11	11	-	-
	執行額	11	7	9		
	執行率	91.7%	63.6%	81.8%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	本事業の目的達成のために必要性・優先度の精査を行ったうえで、限られた予算の範囲内において、調査項目等の決定を行っている。なお、事業実施現場より適宜事業の進行状況等の報告を受け、効率的且つ効果的な執行の確認を行っている。また、委託した事業者からの事業報告書を通じて、事業実施内容を把握している。				
	見直しの 余地	本事業については、平成21年度に当初の目的を概ね達成したものと認められることから、今後は本事業において取得した結果を使用過程車に対する新たな排出ガス対策に関する調査において活用することとし、本事業については廃止する。				
予算 監 視 の 効 率 化	【事業廃止】 事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。					
補 記	【予算科目】					
	010 道路環境等対策費					
	13	道路環境等対策の技術開発に必要な経費	(21年度予算額)		(21年度決算見込額)	
	13054-2123-09	技術研究開発調査費	2百万円	0百万円		
13054-2125-14	技術研究開発調査委託費	8百万円	8百万円			

国土交通本省
9百万円

〔NOx低減啓発・指導事業の企画・立案、進捗管理・指導〕



【一般競争入札・委託】

A. (株)数理計画
8百万円

〔非接触式のNOx測定機器を路上に設置し、実走行車のNOx排出率の測定を行い、その結果を自動車使用者に対して知らせる啓発・指導事業を行う。〕

【一般競争入札・委託】

B. 開発エンジニアリング(株)
1百万円

〔非接触式のNOx測定機器より取得した実走行車のNOx排出率の測定結果を用いて、使用過程車の排出ガス劣化車両の実態について解析を行う。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A.(株)数理計画			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	非接触式NOx測定装置借料、非接触式NOx測定装置関連費用、周辺機器等	3			
人件費	業務担当者人件費	2			
諸経費等	諸経費、技術経費	2			
その他	リーフレット、報告書印刷費等	1			
計		8	計		0
B.開発エンジニアリング(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	車両の登録データ照会経費、業務担当者人件費、アンケート印刷費、報告書印刷費、アンケート発送・返信経費等	1			
計		1	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0